☆第26回北星会館ふれあいまつり

4年ぶりの開催で心配していましたが、多くの方にご参加いただきありがとうございました。
また、運営にご協力いただいた皆様、どうもありがとうございました。

北星会館だより

2023年
令和5年 12月号
（No.147）

住所　〒799-1341　西条市壬生川682
電話･FAX　0898-64-0321
E-mail　hokuseikaikan@saijo-city.jp

第5回 優(ゆう)･友(ゆう)･楽(がくしゅうかい)習会 「笑顔あふれるまちづくり ～人権問題の解決をめざして～」

10月14日(土)第26回北星会館ふれあいまつりを開催しました。協力委員長の開会のことば、市長祝辞のあと、愛媛県人権問題研修講師の原廣先生を招いて人権･同和教育講演会「笑顔あふれるまちづくり～人権問題の解決をめざして～」を行いました。

原先生の講演では、どのような人権重要課題があるのか17項目あげられ話が進みました。どの差別についても許されるものではないが、多数派から少数派への差別が多く、違いが差別を生んでいる。その中で部落差別は、違いのない中での差別であり、長年残っていることが、外国からは理解できない異質な差別であると言われました。

お話の中で、同和問題理解度チェックをはじめ、身元調査の問題点、区別と差別、就職差別、ことばの問題などを、○×クイズを用いて私たち自身の意識と内容の是非について考える時間をもたせてくれました。

例えば、身元調査について、『「聞き合わせ」があっても、良いことばかり言ってあげるのはよいことである。』の問いがありました。皆さんどう思われますか？「身元調査はあらさがしをするものです。自分はよいと思ったことでも受け取る人によってどう考えるのかは様々であるので、いかなる場合においても身元調査に答えるのは適切ではない。」との説明がありました。

そして最後に、「差別をされる人」「差別をする人」ということではなく、「差別を解消する立場に立つ」のか「差別を温存する立場に立つ」のかを考え、笑顔あふれる地域づくりを進めていきたい。この時代、いつ弱者になるかはわからない、少数派になるかもわからない。そのことをしっかりと考えてほしい。温かい人間関係を築くために、はじめの一歩は言葉から大切にしてほしいと多くの言葉を例に語られました。

原先生の話は、わかりやすく的確で、私たちを引き付け、気づけば時間もあっという間でした。これからも私たちは正しい理解を積み重ね、暮らしやすいまちをつくっていきたいものだと思いを新たにしました。

☆第7回 優･友･楽習会のお知らせ

（人権･同和教育講座）

日　時　12月　4日（月）13:30～

演　題　「だれもが幸せな社会づくり」

講　師　　西原　司さん　愛媛県人権問題研修講師

舳松人権歴史館とウトロ平和祈念館を訪問して

9月28日、29日に県人権対策協議会西条支部の県外視察研修に参加して研修を深めました。

1日目の堺市立人権ふれあいセンター内の舳松（へのまつ）人権歴史館での研修では、教員を退職した後もふれあいセンターでの活動を続けている方からお話を聞き、差別解消への熱い思いを感じました。舳松の歴史的な変遷と差別解消に向けた運動や現状について、この地には全国水平社運動の支援者が多くいたこと、将棋名人阪田三吉を生んだ地でもあるとのことを話されました。

また、かつて差別により共同湯に入れなかった舳松の方が協力して作った地区の共同湯の流れをくむ「布袋（ほてい）温泉」が敷地の横にあり、多くの方でにぎわっていました。

2日目は京都府宇治市のウトロ平和祈念館での研修でした。2021年8月にヘイトクライムによる放火事件があり、私もその時の報道によりウトロ地区のことを初めて知りました。祈念館の建設に向けて準備していた、過去の貴重な資料も失われてしまったそうです。祈念館は昨年4月30日に開館したまだ新しい施設ですが、現在は来館者が1万8千人を超えており、人権について考えている方や団体の大きな力を感じるとのことでした。

ウトロ地区は、戦争中「京都飛行場」建設のために集められた朝鮮人労働者の飯場（宿舎）が始まりです。上水道が引かれたのは1988年。それまで公共インフラの整備からも取り残されてきたいうことにも驚かされました。韓国や日本の支援者により市営住宅の建設による住環境の整備や祈念館の建設につなげ、現在に至ったとのことです。

現地での学びからは多くの気付きが生まれます。差別が見えにくくなっているという話をよく聞きますが、現在も多くの人権課題が現存していることを痛感します。祈念館の副館長さんの話から、差別のないみんなが健やかに生活できる共生社会にしていけることへの願いを切に感じました。

周布小学校人権標語の紹介（10月の作品展示より）

☆ わるぐちを　自分にやられたら　いやじゃない？（3年　平塚淳基）

☆ ごめんね？　心はごめんで　なおらない（3年　西松紗希）

☆「大じょうぶ」こまった時は　助け合おう（4年　越智蒼真）

☆「ごめんね。」この一言で　すぐ仲なおり（4年　日野心葉）

☆ その言葉！　やさしい言葉にかえてみて　きっとやさしい心伝わるよ（5年　髙橋陽万莉）

☆ 一人ひとりの　個性輝く　明るい未来へ（5年　長井美空）

☆ 助け合い　みんなできたら　楽しい生活（6年　越智敦也）

☆ 自分も笑顔でいると　みんなも笑顔になる　まほうのおまじない（6年　飯尾朱里）

第6回 優･友･楽習会の開催 「認知症も怖くない！

～ボケない頭をつくる予防対策～」 済生会西条病院保健師　秋元友絵さん

済生会西条病院の無料低額診療事業の説明の後、保健師の秋元さんから、認知症の予防について、認知機能の向上や低下を抑えていく行動により、将来の発症を遅らせることができる運動課題等について教えていただきました。

具体的には『コグニサイズ』という健康プログラム（コグニは認知、サイズは運動を意味します）の、ストレッチ４種類とリズムトレーニング３種類を実践しました。いつまでも健康でいるために、歌を歌ったり、体を動かしたりすることが大切で、継続してほしいと言われました。

【人権相談日】

12月18日（月）　1月15日（月）

13:30～15:00

館職員が対応します。

お気軽にご来館ください。

【職業･生活等各種相談日】

12月20日（水）　1月17日（水）

13:30～15:30

近藤相談員が対応します。諸事情で開催日を変更する場合がありますのでお問合せください。